自然豊かな朝日で持続可能な地域をつくる



人の情景（ひと　じょう　けい）

scene26

小笠原恒典・石川達也

Ogasawara Tsunenori / Ishikawa Tatsuya

朝日地域に地域おこし協力隊が着任

冬はスキーや「R天国」でのスノーボード、夏はキャンプ。1年を通じてアウトドアを楽しめる朝日地域・湯殿山エリアに、3月から小笠原恒典さんと石川達也さんが地域おこし協力隊として着任しました。

協力隊の任務は、湯殿山エリアを核とした自然体験の充実と、朝日地域の観光振興。既存イベントの整理や新企画の立ち上げ、情報発信や、地域内外との交流や関係づくりも大切な役割です。

小笠原さんは市内三瀬地区出身。八森山スキー場を遊び場に幼少期を過ごし、スキー漬けの学生時代を経て東京でスキーメーカーに就職。カタログ制作やプロモーション活動などに携わった後、広告代理店に勤め、デザイン事務所を立ち上げました。

「60歳という人生の節目にあたり、鶴岡に帰りたいなと思っていました。今までの経験を生かし地元に貢献できたらという思いから、協力隊に応募したんです」。

石川さんは栃木県宇都宮市出身で、東北芸術工科大学の学生として山形市で4年間を過ごしました。

「大学卒業後、地元に戻って趣味だった自転車に関する仕事をしていました。それでも、山形での暮らしや自然が忘れられず、ずっと戻りたいと思っていたんです。鶴岡市の募集を見て、すぐに応募しました」。

地域の人の温かさに感動

最初は手探りで戸惑っていたという小笠原さんは、「一度離れたからこそ、鶴岡が持つすばらしい自然や風景、その奥深い魅力に改めて気付くことができました。朝日地域の方から『よく来てくれたね』『期待してるよ』と声を掛けてもらって、とてもうれしかったです。」と振り返ります。

鶴岡で初めて暮らす石川さんは、地域の人に受け入れてもらえるか、知り合いのいない中でやっていけるかの不安が大きかったと言います。「でも、地域の皆さんはもちろん、活動の中でご一緒する方々も本当に温かく迎えてくださって感動しました」。今は空き家を借り、地域の運動会など様々な行事に参加して、楽しく活動しています。

お互いの強みを生かした活動

座談会やお茶会などを通じて、地域の方の話を聞きながら、イベントを企画し進めている2人。

5月には、地域で親しまれている郷土かるた「あさひ」に描かれた場所を自転車で巡るイベントを実施。マウンテンバイクなど自転車が趣味の石川さんは「庄内では既にサイクリングイベントが実施されていて、土壌があります。その強みを生かし、スキー場や六十里越街道の一部を、自転車で楽しめる場にできればと考えています。」と笑顔で語ります。

また10月には、湯殿山スキー場でアウトドア・スポーツ用品のフリーマーケットを開催しました。来場者はなんと2、000人。

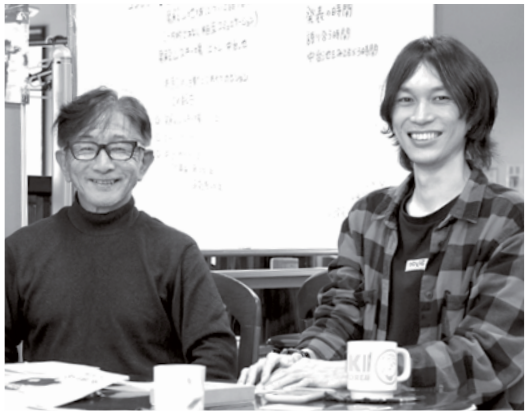
「『スキーシーズン外で人がこんなに集まったのは初めて』と言われました。僕たちで企画したイベントを、地域の方の手で続けてもらうのが理想ですね。」と小笠原さんは考えます。

湯殿山・朝日地域の魅力を外へ

これから取り組んでみたいことを2人に尋ねると、小笠原さんは「映像を通じて湯殿山エリアのすばらしさをPRすること、そして、雪を生かした『雪育』に取り組んでみたいですね。未経験の子供たちに体験してもらって、未来のスキーヤー・スノーボーダーが生まれるきっかけにしたいです。」と話してくれました。

石川さんは「誰もが自転車を気軽に楽しめる環境を更に広げていきたいです。また、地域に宿泊施設がないといった課題もあります。民泊など観光面での雇用や仕事を生み出して、地域が持続可能な形で存続できるような仕組みを作っていきたいですね。」と今後を見据えます。

新たな生活の地・鶴岡での夢を語りながら、地域の人々の生活に役立とうとする小笠原さんと石川さん。初めての冬を迎え、更なる挑戦が始まります。



湯殿山エリア地域おこし協力隊

2人は令和8年3月から鶴岡市地域おこし協力隊として、㈱月山あさひ振興公社に勤務。

小笠原恒典（おがさわら・つねのり）さん（60）

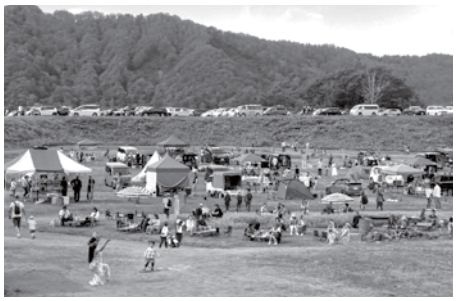
鶴岡市三瀬地区出身。スキーメーカーや広告代理店勤務を経て、デザイン事務所を開設。スポーツ関係の映像制作を手掛けてきた。趣味はスキーのほかにサーフィンや写真・動画撮影、アート制作。

石川達也（いしかわ・たつや）さん（34）

栃木県宇都宮市出身。東北芸術工科大学文芸学科卒業。アパレル販売などを経て、趣味でもある自転車の販売店に勤務。コーヒーが好きで、休日は喫茶店巡りをして過ごしている。



▲朝日地域で活動する若者グループ・チームWaGeShoと一緒に、越中山遺跡、本明寺、乳銀杏など、郷土かるたの名所13か所・約20kmを自転車で巡った。参加者からは「初めて訪れた場所もあった」と好評。



▲スキー場と、隣接するキャンプ場・月山あさひサンチュアパークで開催したフリーマーケット。冬以外のグリーンシーズンに来てもらうきっかけになれば、と企画した。



▲ドローンを用いてウィンタースポーツの臨場感を伝えるなど、写真や動画での情報発信も積極的に行っていく。

インスタグラムで発信中！

小笠原さん

石川さん